

●重要土壌病害に効果を発揮し、高品質な収穫をサポート。
 ●やけ・しみ・あざによる品質劣化を防ぎ、秀品率の向上に貢献。
 ●粒剤だから散布しやすく、ドリフトも少ないため安心。

適用
拡大

■適用病害の範囲及び使用方法

作物名	適用病害名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アゾキシストロピンを含む農薬の総使用回数	メタラキシル及びメタラキシルMを含む農薬の総使用回数
みょうが(茎葉)	根茎腐敗病	18kg/10a	みょうが(花穂)の収穫30日前まで、但し、花穂を収穫しない場合は開花期終了まで	2回以内	土壌表面散布	4回以内(粒剤は2回以内、水和剤は2回以内)	2回以内
			収穫30日前まで	3回以内	定植前作条土壌混和又は生育期土壌表面散布	3回以内	3回以内
しょうが	いもち病				土壌表面散布		
葉しょうが	根茎腐敗病		収穫21日前まで		土壌表面散布		
ごんにゃく	根腐病	9kg/10a	植付時	1回	植溝土壌混和	1回	1回
	白絹病		培土時		土壌混和		
ホップ	べと病	10~20g/株	株ごしらえ時~選芽期				
ピーマン	どうがし類(しとうを除く)	3g/株	収穫前日まで	3回以内	株元散布	4回以内(粒剤は3回以内)	4回以内(種子への処理は1回以内、は種後は3回以内)
しとう			1回	1回		1回	
パセリ			12kg/10a	3回以内		4回以内(粒剤は3回以内、水和剤は1回以内)	4回以内(種子への処理は1回以内、は種後は3回以内)
オクラ	疫病	9kg/10a	収穫前日まで	1回	全面土壌混和	6回以内(全面土壌混和は1回以内、散布は2回以内、株元散布は3回以内)	5回以内(種子への処理は1回以内、は種前は土壌混和は1回以内、は種後は3回以内)
	苗木枯病	9~18kg/10a	は種前				
にんじん	しみ腐病			1回	全面土壌混和	3回以内(粒剤は1回以内、水和剤は2回以内)	2回以内(種子への処理は1回以内、土壌混和は1回以内)
みずな	白さび病	9kg/10a	は種前又は定植前				

作物名	適用病害名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アゾキシストロピンを含む農薬の総使用回数	メタラキシル及びメタラキシルMを含む農薬の総使用回数
こまつな	白さび病	9kg/10a	は種前	1回	全面土壌混和	3回以内(粒剤は1回以内、水和剤は2回以内)	2回以内(種子への処理は1回以内、土壌混和は1回以内)
かぶ			定植前				
チンゲンサイ							
タアサイ							
だいこん		6kg/10a	は種前	1回	作条土壌混和	4回以内(粒剤は1回以内、水和剤は3回以内)	
	6~9kg/10a						
ほうれんそう	べと病	9kg/10a		1回	全面土壌混和	1回	2回以内(種子への処理は1回以内、土壌混和は1回以内)
べにはいんげん	茎根腐病	1g/株	定植時		株元散布		
たばこ	疫病	6~9kg/10a	大土寄期	2回以内	作条土壌混和	2回以内(粒剤は1回以内、水和剤は2回以内)	1回
		6kg/10a	移植前				
せり	葉腐病	3kg/10a	収穫21日前まで		港水散布	5回以内(粒剤は1回以内、水和剤は4回以内)	2回以内(種子への処理は1回以内、は種後は1回以内)
くわい	茎腐病			2回以内		2回以内	2回以内
しちとうい	べっこう病		生育期			2回以内	2回以内
ねぎ	べと病 さび病 白絹病	9kg/10a	土寄せ時 但し、収穫90日前まで	1回	株元土壌混和	5回以内(粒剤は1回以内、水和剤は4回以内)	5回以内(種子への処理は1回以内、土壌混和は3回以内)
			90日前まで				
ごぼう	黒あざ病	18kg/10a	は種前		作条土壌混和	1回	1回
トルコギキョウ(水耕栽培)	根腐病	0.25g/株	定植時		株元散布		
あじさい(ポット・プランター等の容器栽培)	茎根腐病	土壌1L当たり0.25g	鉢上げ時		土壌混和	5回以内	4回以内(但し生育期は3回以内)
花き類・観葉植物	立枯病(リゾクトニア菌)	18kg/10a	定植時又は生育期	3回以内			
たらき	立枯疫病	20kg/10a	収穫終了後(苗の場合は植付後)~落葉前但し、収穫60日前まで	2回以内	土壌表面散布	2回以内	2回以内

■使用上の注意事項

- ① 使用量に合わせ秤量し、使いきってください。
- ② ピーマンおよびとうがし類に使用する場合は、使用量・使用方法を誤ると葉が黄化する等薬害を生じるので、使用量・使用方法を厳守してください。また、定植時~定植後3週間までの使用は避けください。
- ③ だいこんに使用する場合は、施設内で使用すると葉が黄化する薬害を生じるおそれがあるので、使用しないでください。
- ④ ホップに使用する場合は、本剤が直接根株に触れたり、また、本剤を株の真上に散布すると、薬害を生じるおそれがあるので、株のまわりに均一に散布してください。
- ⑤ せり、くわい、しちとういに使用する場合には、灌水状態を保ち、散布後少なくとも7日間は落水、かけ流しはしないでください。
- ⑥ たらきの立枯疫病に使用する場合は、発病後の散布は効果が劣るので予防的に散布してください。また、幼苗や植付け直後に使用すると葉が黄化することがあるので注意してください。なお、若葉利用栽培の作型には使用しないでください。
- ⑦ トルコギキョウ(水耕栽培)に使用する場合は、NFT式循環型水耕栽培施設で行ってください。使用にあたっては普及指導センターの指導に従い、廃液は環境中に流出しないように適切に処理してください。
- ⑧ あじさい(ポット・プランター等の容器栽培)に使用する場合は、最初の鉢上げ時に処理してください。

- ⑨ 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、普及指導センター、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- ⑩ 本剤の連続使用によって、薬剤耐性菌が出現するおそれがあるので、連用を避け、作用性の異なる他の薬剤と組み合わせて輪播で使用してください。
- ⑪ 本剤の使用にあたっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- ⑫ 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- ⑬ 使用の際は農業用マスクなどを着用してください。作業後はうがいをしてください。
- ⑭ かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- ⑮ 水産動植物(魚類)に影響を及ぼすので、養魚田では使用しないでください。
- ⑯ 水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- ⑰ 散布後は水管理に注意してください。
- ⑱ 直射日光を避け、なるべく低温で乾燥した場所に密閉して保管してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。●使用後の空袋は圃場などに放置せず適切に処理してください。

篠原商店でご購入される場合は
このページをクリック!

シンジェンタ ジャパン株式会社
〒104-6021 東京都中央区晴海1-8-10 オフィスタワーX21階
[ウェブサイト] <http://www.syngenta.co.jp>



スキのない
美菜づくりに。



ねぎのべと病、
さび病などに
使えるようになりました！
適用拡大



高品質な野菜づくりに

土壌病害から守る



高品質な収穫を
サポートする殺菌剤。



★ ユニフォーム®
粒剤

syngenta.

シンジェンタ ジャパン株式会社

農薬をご使用の際は、ご購入先、または当社ウェブサイトなどで最新の登録内容をご確認ください。

®はシンジェンタ社の登録商標